

市長とのかがやきライブトーク

と き：平成22年7月30日（金） 10:00～11:30

ところ：赤坂総合センター

団 体：劇団こぼと 14名

【団体】

劇団こぼとは青墓地区の民生・児童委員が集まり結成した団体です。新聞やテレビで高齢者が悪質商法や振り込め詐欺の被害に遭ったという報道があるたびに、私たちとしても何かできないかと考えていました。そんなとき、悪質商法や振り込め詐欺の被害防止のため寸劇をやってみようということになり、平成21年4月に劇団こぼとを立ち上げました。



これまでに、各地区のいきいきサロンなどで14回の公演を行いました。しか



し、まだ多くの方が被害に遭われているのが現状であり、これからも啓発活動を続けていかなければならないと思っております。

また、メンバー全員が民生・児童委員であり、今年が改選期にあたるため、今後の活動についての方向性についても検討していかなければならないと思います。

【団体】

寸劇は火災報知機の訪問販売、地上デジタルチューナーを高額で売りつける詐欺、振り込め詐欺の3種類に、メンバーを割り振り全員が出演できるような内容にしています。



劇団こばとの活動は、地区の民生委員活動の一部としてとらえており、それぞれが担当する地区の独居老人や高齢者世帯を中心に相談・支援等を行っています。また、各地区の改選時期ですので今後の活動がどうなるか分かりませんが、継続できるならば今後も活動をしていきたいと思っています。

【団体】

実際に、銀行で振り込もうとしているお年寄りの方を銀行の方が、不振に思い、警察に通報し、警察官がお年寄りを説得していたのですが、なかなか分かってもらえずに苦労したという話を聞いたことがあります。

お年寄りは騙されたことに気づかないことが多いので、被害が拡大するのではないかと思います。

【市長】

振り込め詐欺の手口も巧妙になり、思わず騙されてしまう方も見えますので、啓発活動に取り組まないといけませんね。

【団体】

火災報知機の訪問販売の寸劇では、ホームセンター等で買えば5千円程度になる火災報知機を1個5万円で、5個売りつけるという内容にして、公演しています。寸劇で啓発をしていますが、実際には私の家には火災報知機を設置していませんので、設置しないといけません。



【市長】

新築の建物はすでに火災報知機の設置が義務化されていますが、既存の建物については来年の6月までに設置しないといけませんので、もしかすると、このような手口が今後増えてくるかもしれませんね。

火災報知機の購入に伴う補助金を検討したこともありますが、それほど高額なものではありませんので、市から助成はしていません。

【団体】

寸劇はいろいろな場で公演しますが、その時々で反響が違うため、みなさんに分かりやすいように内容を工夫しているつもりです。また、60歳を過ぎて演劇をやり、いい思い出にもなりますのでこのような機会を与えてもらったことに感謝しています。

市役所の職員を騙り、医療費の還付金があるとお年寄りのお宅に電話をかけ、銀行やスーパーのATMに誘導して、お金を振り込ませる還付金詐欺の公演もしていますが、最近は新たな手口の啓発にも努めています。

【市長】

お年寄りの心の隙につけこんで、あたかも還付金があるように装って騙し取ることは許せないですね。

また、手口が次々とかわるため啓発も大変ですがよろしくお願いします。



【団体】

以前、軽トラックに乗った男性が、屋根の温水器が傷んでいるから取り替えたほうが良いと訪れ、引っかけりそうになったことがありました。

私の担当地域では、ひとり暮らしの方たちのコミュニケーションがよくとれて

おり、高齢者同士で、見知らぬ人が訪問した時には、家の中に入れないようにというようなことを日頃からよく話し合い、実践しているそうです。

このようなことが騙されないために必要なことだと思っています。

【市長】

相手に悪意があるかどうかは話してみないと分からないこともありますし、温水器が本当に傷んでいるかどうか、素人には判断が付きませんから、特に高齢者は信じてしまいますよね。信頼できる業者かどうか判断することが難しいですね。あやしいと思ったら断わらなければなりませんね。

【団体】

寸劇を公演してみて思うのは、悪質な業者はあの手この手というように、手口を変えて、言葉巧みに近付いてくるので、みんな騙されてしまうと思います。騙されないためにはどうしたらよいのか、考えているところです。



【市長】

騙されないためには、振り込め詐欺などは家族や公共機関に確認を取ることが必要だと思いますし、高額な商品などはよく考えて購入しないといいけませんね。

【団体】

新聞やテレビで保育園や幼保園の待機児童が全国で約4万人いるという報道がされていたことがあります。大垣市の待機児童はどの位ですか。

【市長】

大垣市の保育園は定員に達しておりますが、幼保園は若干の空きがあり、待機児童はありません。

現在、子ども手当が半額の1万3千円支給されており、来年には満額の2万6千円が支給される予定ですが、国では、子ども手当を現在の金額に据え置き、保育園等の整備に充ててはどうかという議論もされているところです。

【団体】

青墓地区はバスなどの公共交通機関がありませんので、独居の方、高齢者だけの方の世帯は、病院の通院や買い物などに苦労しています。

実際に独居の方や高齢者だけの世帯を訪問させていただくと、買い物や病院に出かけるための交通手段がないため、不便で困っているとよく言われます。以前はバスが通っていましたが、今は国道の方を通るバスがあるだけです。お年寄りにとって住みづらいのではないかと思います。

高齢者が病院に通院しようと思っても交通手段がないという意見が多くありますので、市でバスを巡回させるということは考えられないのでしょうか。



【市長】

大垣市内では民間各社のバスが運行されていますが、多くの路線が赤字になっており、市から補助金として助成している状況です。

以前、大垣市においても公共施設を回るワンコインバスを運行させたことがありますが、利用率はあまり良くありませんでした。バスは自分の利用したい時に来てくれるわけではないので、バスの時間に都合を合わせなくてはいけなくなります。自分の行きたい時に車に乗って出かける便利さに慣れてしまった車社会の人たちにとっては不便ですよ。

車社会になったことによって、車の運転ができない子どもや高齢者にはますます不便になってしまっています。

【団体】

病院と提携して、病院だけを回るバスの運行はできないでしょうか。垂井町の病院は西回り、東回りのバスをそれぞれ走らせていますね。

【市長】

市民病院行きのバスは、本数も多く利用率が一番高いと思います。

バスに限らず樽見鉄道や養老鉄道などの公共交通機関の利用は低迷していますね。もし、鉄道が廃線となれば代替え手段としてバスを走らせることとなりますが、そうするとバスを利用せず、マイカーを利用する方が増えると思います。

若いうちは、車の運転ができるのでいいですが、年老いてからは非常に困りますよね。また、昔は3世代が同居していましたが、別居される方が多くなり、高齢者だけの世帯が増えてきていますので、このような問題が起きることになりますね。

～最後に～

寸劇を通じて、お年寄りが狙われやすい悪質商法等の啓発活動にますます努めていただき、市とともに被害の未然防止を図っていただきたいと思います。